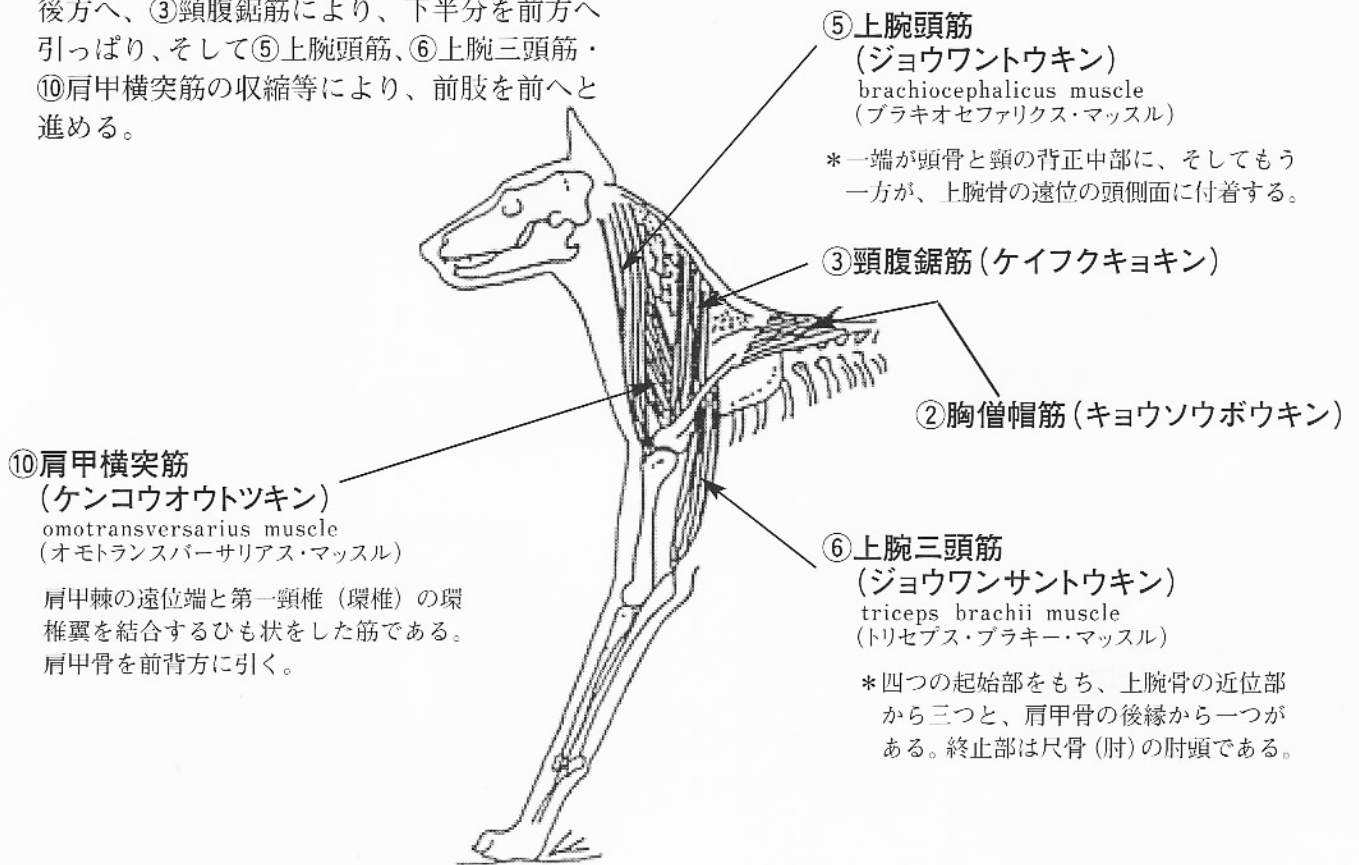


<前肢を前へ運ぶ筋>

*②胸僧帽筋の収縮により、肩甲骨の上半分を後方へ、③頸腹鋸筋により、下半分を前方へ引っぱり、そして⑤上腕頭筋、⑥上腕三頭筋・⑩肩甲横突筋の収縮等により、前肢を前へと進める。



*一端が頭骨と頸の背正中部に、そしてもう一方が、上腕骨の遠位の頭側面に付着する。

⑩肩甲横突筋
(ケンコウオウトツキン)
omotransversarius muscle
(オモトランスパーサリアス・マッスル)

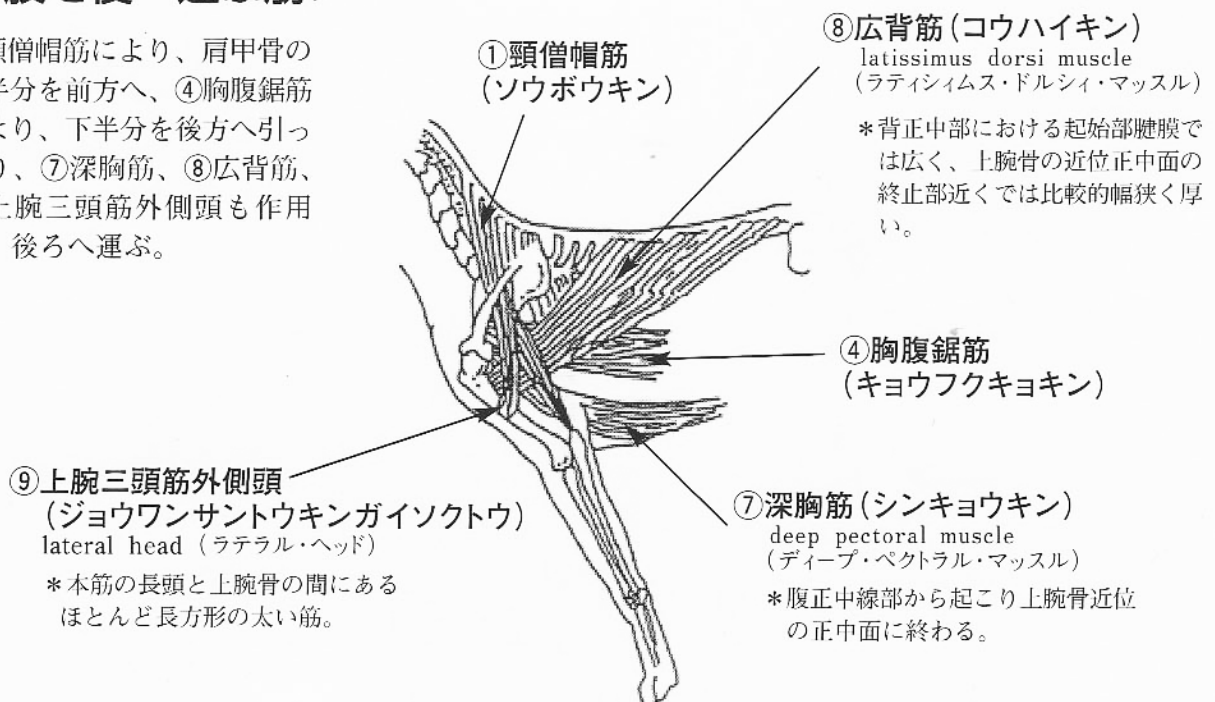
肩甲棘の遠位端と第一頸椎（環椎）の環椎翼を結合するひも状をした筋である。肩甲骨を前背方に引く。

⑥上腕三頭筋
(ジヨウワンサントウキン)
triceps brachii muscle
(トリセプス・ブラキー・マッスル)

*四つの起始部をもち、上腕骨の近位部から三つと、肩甲骨の後縁から一つがある。終止部は尺骨（肘）の肘頭である。

<前肢を後へ運ぶ筋>

*①頸僧帽筋により、肩甲骨の上半分を前方へ、④胸腹鋸筋により、下半分を後方へ引っぱり、⑦深胸筋、⑧広背筋、⑨上腕三頭筋外側頭も作用し、後ろへ運ぶ。



⑧広背筋 (コウハイキン)
latissimus dorsi muscle
(ラティシムス・ドルシイ・マッスル)

*背正中部における起始部腱膜では広く、上腕骨の近位正中面の終止部近くでは比較的幅狭く厚い。

⑨上腕三頭筋外側頭
(ジヨウワンサントウキンガイソクトウ)
lateral head (ラテラル・ヘッド)

*本筋の長頭と上腕骨の間にあるほとんど長方形の太い筋。

⑦深胸筋 (シンキョウキン)
deep pectoral muscle
(ディーブ・ペクトラル・マッスル)

*腹正中線部から起こり上腕骨近位の正中面に終わる。